

(別添2)

2024年度「盲ろう者向け情報機器指導者養成研修会」申込方法・諸注意

1. 目的および受講対象者

(別添1) 2024年度「盲ろう者向け情報機器指導者養成研修会開催要領」に基づくものとします。盲ろう者に対して、パソコン等情報機器の操作方法を指導できる人材を養成する研修のため、受講条件として、盲ろう者に対して、パソコン等の操作方法を指導する意欲のある方、現在指導に従事している方で、メーラーのメールアカウントの設定ができることを必須とします。

本研修会ではブレイルセンスシックス、シックスミニを用いて実施します。実習では実際に機器に触れ、操作します。その際に表示される点字（アルファベット含む）を読むことやパーキンスブレーラー方式で入力することが求められるため、点字の読み書きができることを原則、必須とします。なお、点字の読み書きができない方でも、現在盲ろう者の情報機器の支援に入っている、もしくは、今後支援に入る可能性があるなどの事情がある場合は考慮しますので、詳細を申込書の志望動機の欄へご記入ください。

2. 受講定員等

10人程度募集します。障害は不問とし、盲ろう者枠として若干名を募集します。

3. 情報保障および移動支援

(1) 資料について

必要に応じて、拡大文字・点字・電子データ等を準備します。

(2) 聴覚障害者について

必要に応じて、全体手話通訳を手配します。

(3) 視覚障害者について

必要に応じて、ヘルパー（支援者）を配置し、視覚支援を受けながら受講することも可能です。ヘルパーの手配は受講者自身で行ってください。

ヘルパーの配置に伴う経費（謝金、交通費、宿泊費）について、地元で何らかの補助を得られる場合は、できるだけその補助を受けてご参加ください。補助を受けることが困難な場合は、当協会の規程（1日最大1名まで×上限8時間、時給2千円・交通費実費、宿泊費上限10,900円）に基づき、当協会が負担します。

単独で参加する場合、必要に応じて、会場の最寄り駅から会場まで、および会場内の移動を当協会職員で支援します。

(4) 盲ろう者について

盲ろう者向け通訳・介助員の通訳・介助を受けて受講する体制を想定しています。通訳・

介助員の手配は受講者自身で行ってください。

通訳・介助に伴う経費（通訳・介助謝金、交通費、宿泊費）について、地元で何らかの補助が得られる場合は、できるだけその補助を受けてご参加ください。補助を受けることが困難な場合は、当協会の規程（1日最大2名まで×上限8時間、時給2千円・交通費実費、宿泊費上限10,900円）に基づき、当協会が負担します。（受講者本人の旅費等は自己負担となります）

4. 申込締切

2024年10月4日（金）必着

5. 申込方法

受講を希望する方は、(別紙1)「2024年度 盲ろう者向け情報機器指導者養成研修会 受講申込書」、および(別紙2)「指導経験等に関するアンケート」に必要事項をご記入いただき、当協会までメール、郵送またはFAXでお申込ください。

なお、申込順に受け付けいたしますが、本研修会は全国各地より幅広く募集を行う関係上、定員を超えた場合、地域的な偏り等を考慮し、当協会で調整させていただくこともございますので、予めご了承ください。

【お申込先】

社会福祉法人 全国盲ろう者協会（担当：小林、押切、中川）

〒162-0042 東京都新宿区早稲田町67番地 早稲田クローバービル3階

電話 03-5287-1140 FAX 03-5287-1141 Eメール info@jdba.or.jp

6. 申込書のご記入について

申込書の各項目は必ずご記入ください。

特に、「情報保障」、「受講志望動機」、「指導経験等に関するアンケート」は、必ずご記入ください。定員を超えた際の選考、また研修当日の実習等でのグループ分け等の参考とさせていただきます。

7. 受講者名簿について

本研修会では、視覚と聴覚から情報が得られない、または得にくい盲ろう者も参加することから、受講者の氏名、性別、障害種別を記載した名簿を作成し、受講者へ配布します。受講者名簿に情報を掲載することに同意頂ける方は、申込書の所定の欄にご記入ください。

8. 選考結果の通知

10月中旬までに、申込者へ選考結果を通知します。

9. 宿泊・昼食について

宿泊・昼食は、各自でご手配ください。会場内への飲食物の持ち込みは可能です。

以上